

2018 年度事業計画（幼稚園）

<p>1. 基本方針</p> <p>広島女学院ゲーンズ幼稚園は、</p> <p>○子ども一人ひとりが、神様から愛されたかけがえのない存在であることを知り、受け入れられていることを感じる。 ○身近な自然や環境との関わりを通して、健康な心身を育み、豊かな情操を培う。</p> <p>○子どもが、お互いの個性の違いを認め合い、共に育ちあう。</p> <p>ことを目標とする。</p> <p>この目標を達成するために2018-2022年度の5か年で、(1)キリスト教保育の実践、(2)持続可能な幼稚園の実現に向けた取り組み、(3)開園130周年記念事業に取り組む。その初年度、2018年度は</p> <p>①キリスト教保育についての実践的共通理解 ②新任教員研修計画の改訂 ③子育て支援センター構想 ④職務の合理化・省力化 ⑤施設設備計画 ⑥130周年記念事業計画策定 に取り組むこととする。</p>			
<p>2. 具体的アクション</p>			
第2次中期計画（行動計画）	2018年度事業計画	目標達成のための手段等	具体的な目標（数値目標）
<p>(1)キリスト教保育の実践</p> <p>ア 全教職員による建学の精神の理解</p> <p>イ 新任研修計画と保育内容データベース化</p> <p>(2)持続可能な幼稚園の実現</p> <p>ア 子育て支援諸活動と幼大連携の連動プロジェクトの推進</p> <p>イ 業務体制の見直し・業務の効率化</p> <p>ウ施設・設備計画</p>	<p>①キリスト教保育についての実践的共通理解</p> <p>幼稚園教育要領の改訂を受け、本園の教育課程、および新キリスト教保育指針との整合性を確認する作業を行う。必要に応じた、教育課程の見直しを行う。</p> <p>②新任教員研修計画の改訂—第1段階</p> <p>新任教員の研修課題は、時代とともに変容している。現状に見合った研修計画となるようにその課題を洗い出す。</p> <p>③幼稚園として歩む本園が担うべき地域の子育て支援センター機能についての計画策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育時間終了後、安心して過ごせる環境づくりに段階的に取り組む。 ・育児相談と居場所づくり ・幼大連携による子育て支援を実現するための環境整備計画を立てる。 <p>④職務の合理化・省力化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育活動記録の写真撮影、販売の業務見直し <p>⑤施設設備計画</p> <p>1)ホールトイレ</p>	<p>①課題を以下の3つの観点から、洗い出しを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・礼拝 ・自由遊びの環境構成 ・集団活動の指導計画と環境構成 <p>②2018年度新任教員からの聞き取り調査</p> <p>③他園、他養成機関が実践している『子育て支援センター機能としての諸活動』を調査し、将来計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・量的に拡大する預かり利用児の居場所づくり、生活動線の視点、安全管理の視点から見た子育て支援専用スペースの計画案を立てる。 ・支援を必要とする園児、保護者への、療育施設や専門家との連携を強化し継続する。 ・保護者同士の交わりの場を提供するオープンスペースと人的環境づくりの計画を立てる。 <p>④保育情報管理システム「れんらくアプリ」の段階的導入、第2段階によって、保護者、家庭との双方向の連絡体制を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導要録、保育記録、指導計画等の電子化により省力化を進める。 ・預かり金の自動振替への切り替え <p>⑤施設設備整備計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018年度内に完成を目指す。 	

<p>(3) 開園 130 周年記念事業の推進</p>	<p>2) 空調 3) 照明 4) 外遊具</p> <p>5) 建具</p> <p>6) 屋根の塗り替え計画</p> <p>⑥ 幼稚園開園 130 周年記念事業 (2022 年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育記録、園の取り組みの事業内容を取りまとめる 『食育－土づくり、園芸、果樹、おやつ作り』 『根を育てる－ケヤキの木の物語』 『ぼうけんのもり－単一性と多様性』 『いのち－身近な動物との出会い』 『水辺の物語』 他 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 保育室について更新する。 ・ 天井の高いホールから段階的に LED 化を進める。 ・ 1994 年度から使用している園庭総合遊具を更新する。 2020 年度までの 3 年計画で進める新しい園庭総合遊具への切り替えの第 1 段階として、3 歳児保育室前、砂場周辺に新たな外遊具を設置する。 ・ 優先順位を決めて、更新の必要な箇所から新しい建具に入れ換えを行う。 ・ 屋根塗り替えの計画を立て、時期、費用等の検討を行う。 <p>⑥ 委員会を立ち上げ、事業計画を作成する。</p>	
-----------------------------	---	---	--